



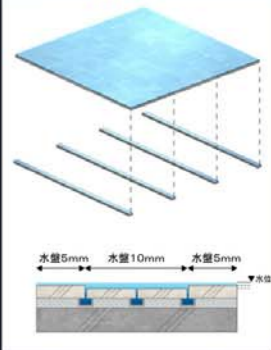
## ■ DRY/WET パターンバリエーションの仕組み

- ・ 石の舗装面の目地下に水みちをつくり、水の加圧減圧により水位を設定することにより、さまざまなパターンの水景を創出。

自由に選択可能なDRY/WETの切替



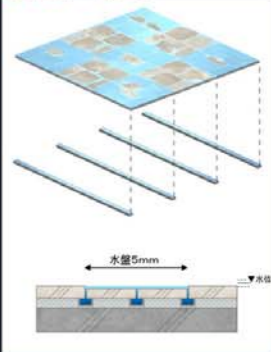
DRY / WET



全面を水盤状とした**WET**ではクーリング効果の他、夜はライトアップなどで魅力的なシーンを演出



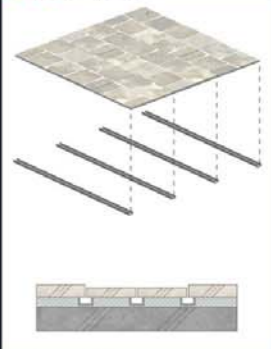
DRY / WET



水量が少ないうっすらと濡れた**DRY/WET**では、子供の遊びや一般歩行に支障のない安全で快適な涼空間



DRY / WET



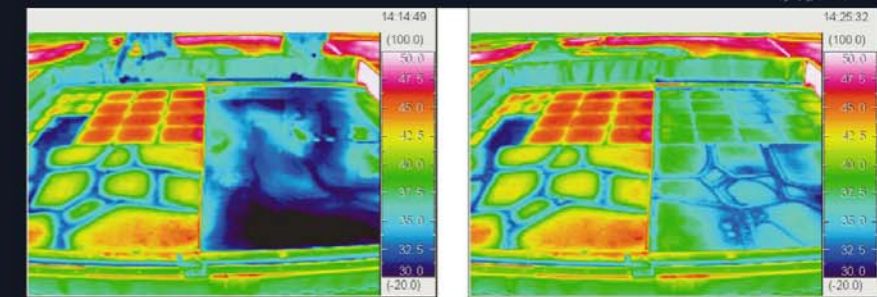
水のない**DRY**では、通常の舗装面となるため、必要のない季節は無駄なエネルギーを使わないことでヒートアイランド対策に効果的な運用

## ■ 実証実験による熱環境シュミレーション

- ・ 水面の気化熱によって都市空間の表面温度を20℃程度低下。
- ・ DRYに切り替え後も路盤の熱容量によって冷却効果が持続。(右下図右側)
- ・ DRY/WETを適宜切り替えることにより、地下ピット等から冷たい貯留雨水を常に供給。温まりやすい薄水盤の弱点をクリア。
- ・ 特許出願中



(実験モデル)



左:ドライ

右:ウエット

左:ドライ

右:ウエット後ドライ

■ 子供たちの遊び場になるだけでなく、来訪者のヒートショックを和らげることができるDRY/WETプラザ